

2023.06.26 発行



兵庫県立三田祥雲館高等学校 21 回生年次通信第 20 号

創意工夫の展示発表

6月16日(金)、17日(土)に第22回祥雲祭「Show must go on」が開催されました。今年度は、コロナ前の状態に少しずつ戻そうと考え、両日とも家族公開され、多くの保護者の方にも来校していただくことができました。夕方遅くまで残り、白熱した議論を重ねた結果、内容を妥協したり、最後まで平行線だったクラス(笑)もありました。文化委員を中心に、少しでも良いものになるよう工夫を凝らしてきました。文化委員、文化部のみなさん、ありがとうございました。

～ Selected Photos ～

【展示部門】



展示結果

- 第1位 3組「2-3 STORY」
 第2位 2組「TAMAMA'S, INC.
 「モンスターズ・ライドに乗って出発だ!～」
 第3位 6組「SUPER NITTA WORLD」

【年次企画】 今年もやりました! Umbrella Sky from Portugal



【他の年次企画】



祥雲祭を終えて ～ 各クラス代表より ～

1組 N・K



展示と物販の両立は大変でしたが終えてみると悲しいなと思うぐらい楽しい祥雲祭でした。買い出しや準備でもクラスメイトの良い面を沢山発見でき、団結力は間違いなく深まったと思います。次の体育大会などの行事も1組の皆で盛り上げていきたいです!!

2組 K・K



新しいクラスになって、初めての行事でまとめていくことに不安を感じていましたが、祥雲祭準備を通してクラスの仲が一気に深まったと感ずることができました。展示部門で2位になることができ、この1年間をみんなで頑張っていたと思います。

3組 M・W



祥雲祭をきっかけにクラスの絆が深まりました。準備を進める中で互いを知り、協力することで最優秀という結果がついてきたと思います。それぞれが忙しい中、一生懸命、みんなで頑張れた経験はこれからの行事や学校生活に生かされると思います。私自身、クラスが好きになりました。沢山、協力してくれた2-3の皆ありがとう!!これからも頑張ろう!!

4組 K・M



コンセプトがなかなか決まらず、制作にも時間がかかり、成功するか不安でした。ですが、当日、多くの人に来てくれて、私たちのゲームで楽しんでいる姿を見ることができたので、とても嬉しかったです。

5組 M・S



展示は、楽しんだより楽しませる立場として臨み、大変でしたが、私たち自身が楽しむことができました。準備期間は途中で変更もあったりして、最後まで大変でした。けれど、それぞれ臨機応変に対応してやり遂げることができました!

6組 C・I



初めは新クラスになって間もないこともあり、うまくまとめられるかどうか不安でいっぱいでした。しかし、クラスのみんなが積極的に行動してくれて、全員で協力でき、二つの賞を取ることができて本当に嬉しかったです。

2-6のクラス旗は準優勝です。↑

1年次と比べ、大きく成長した21回生の皆さん、今回身に付けたパワーを7月4日から始まる期末考査に全力投球してくださいませ!



SS 探究Ⅱ本格始動

6月9日(金)、関学や阪大の教授、人と自然の博物館から講師の先生をお招きして、理系クラスの生徒対象に、研究計画プレゼンへの指導助言をしていただきました。貴重なアドバイスを糧に、各自のリサーチエスチョンや計画全体を俯瞰的に見直しました。6月23日(金)には、文系のビジネス探究グループに講師の方からアドバイスをいただきました。27日(火)には、理系の生徒は、関学の理学部、工学部、生命環境学部、建築学部の研究室を見学に行きます。これまた、楽しみです!



7月の予定

- 1日(土) 学習マラソン
 - 4日(火)~10日(月) 前期期末考査
 - 10日(月) 生徒会役員立候補者立会演説会
 - 11日(火) 総合学力テスト (午前中授業~7/20)
 - 13日(木) 心の健康講演会
 - 14日(金) 探究アワー・性教育講演会
 - 18日(火) 午前:ガイダンスディ(生徒対象)
午後:修学旅行説明会(保護者対象)
 - 19日(水) 大掃除・ワックスかけ
 - 20日(木) 全校集会
 - 21日(金) 国公立大説明会・夏季休業(~8/29)
- 7月21日(金)~ 夏季補習+面談 スタート!

夏休みスタートまでに...

9月以降の高校後半のスタートを最高の状態で切るために、この夏にしなければならないことを明確にしましょう。

- ① まずは、計画。「いつまでに」「どこまで」「何をする」(具体的かつ実行可能なものにしよう)
- ② 苦手科目を克服
- ③ 大学調べ
- ④ 模試対策、過去問の演習
- ⑤ 読書
- ⑥ 家族に感謝&1日1回

Tea Break ①



【第3弾】 21回生年次の先生+αの先生から

今月のテーマ:「子供のころになりたかった職業」

植田先生:「正義のヒーロー」

丸田先生:「花屋さん」

宮浦先生:「電車の運転士」

玉眞先生:「陸上選手」

山本先生:「サラリーマン(父の職業に憧れ)」

増本先生:「サッカー選手、コックさん」

土井先生:「先生」

新田先生:「動物園・水族館の獣医さん or 飼育員」

大西千先生:「航空管制官」

皆さんが10年前に抱いた夢は何だったでしょうか?

新たな宇宙飛行士の候補となった米田あゆさんは、小学校のころから宇宙飛行士になるのが夢だったそうです。宇宙で人体実験をして、自分の医師としての経験を地球上で還元していきたいとおっしゃっておられます。

夢は大きく抱くもの、なりたい職業に向かって第一歩を踏み出しましょう!

Tea Break ②

The sky is the limit.

Q: この成句にはどんな背景があるのでしょうか? 訳を考えて、今回の夏休み前の通信に載せてあるのはどんな意味があるのでしょうか? (答えがわかった人は、英語科教員まで)

次号もお楽しみに。